



羽鳥課員

第133回

今回はステンレス・鏡における汚れの落とし方について紹介します。

注意すべき点が多い清掃ですので、管理者やSVに相談して進めましょう！

※10月号の「教えて！スーパーバイザー第25回」では、ステンレスのサビの落とし方を紹介しました。今回の「清掃知識+1」では、跳ね・垂れ・手垢汚れの落とし方について紹介します！

ステンレス編

ステンレスの清掃手順

- ①【清掃】アルカリ性洗剤（メーカー推奨の希釈倍率）とメラミンスポンジ（または白パッド）を用いて、ヘアライン（線状）に沿って洗浄を行う。

※洗剤はスポンジやパッドに含ませ、垂れないように注意します。（垂れてしまう場合は下側にクロスをあてます）

- ②【水拭き】湿らせたクロス（青）で、洗剤を除去するよう一方向に拭き上げ作業を行う。（洗剤の残留によって、素材を傷めないため）

- ③【乾拭き】乾いたクロス（青）にて、拭き上げ作業を行う。

②の工程にて、水に含まれる成分によるムラ（白く濁る）の発生を防止するため）

- ④ 洗浄箇所の後確認を行い、汚れが残っている場合は①～③を繰り返す。



※ヘアラインの向きは各箇所異なるため、作業前に確認を行ってください。

オススメケミカル

スペースショット
（外壁用洗剤）
オープンテック
コード：1020013042
※環境対応型の弱アルカリ性洗剤であらゆる素材に対応する万能クリーナー



※写真はスペースショット（外壁用洗剤）50倍希釈を使用

ステンレスは、嘔吐跡や飲料などの汚れ、手垢などの油汚れが目立ちやすい素材です。これらの汚れはアルカリ性洗剤で効果的に除去できます。

ワン!



鏡（水垢）編

鏡に付着した水垢の清掃手順

- ①樹脂ケレンでカサ高部を除去する。※傷防止のため、必ず水をかけて使用（ケミカルを使用する前に、ある程度削り落とします）
- ②水を拭き取った後、GSRと白パッドで水垢が付着している箇所の擦り洗いを行う。（円を描くように洗うと効率的に水垢が落ちます）
- ③以降の工程は「ステンレスの清掃手順②」以降と同様に実施する。

[Before]



[After]



使用資機材の紹介



ポリカ樹脂ケレン
コード：2080005400

SMS GSR

コード：1020013024

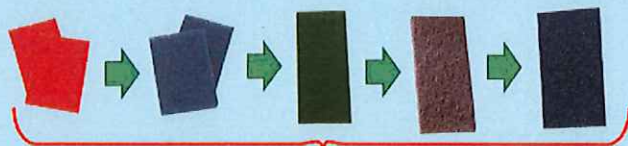
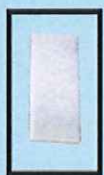
※鏡のウロコ取りとして使用できるクリーナー。研磨剤不使用のため、鏡を傷つけない。



注意事項

ステンレスや鏡はデリケートなため、パッドは研磨剤が含まれていない「白」を使用します。

※色付きのパッド（研磨剤入り）は傷をつけてしまうため使用NGです。



※すべて研磨剤を含む（右にいくほど、研磨力が強い）



ケレンや研磨剤入りの資材を使うと写真みたいに傷ついちゃうよ

